

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>			<b>3.5</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.4</b>	0.15	-	-	3.4
<b>1.1 騒音</b>				<b>4.0</b>	0.40	-	-	
	1 室内騒音レベル	室内騒音レベル45dB以下		4.0	1.00	3.0	-	
	2 設備騒音対策			-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能			3.0	0.60	3.0	-	
	2 界壁遮音性能			3.0	0.40	3.0	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-	
<b>1.3 吸音</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.3</b>	0.35	-	-	3.3
<b>2.1 室温制御</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	1 室温			3.0	0.38	3.0	-	
	2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
	3 外皮性能			3.0	0.25	3.0	-	
	4 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
	5 温度・湿度制御			-	-	-	-	
	6 個別制御			-	-	-	-	
	7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
	8 監視システム			-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2.3 空調方式</b>		居住域の上下温度差、気流速度に配慮された空調計画		<b>4.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.9</b>	0.25	-	-	3.9
<b>3.1 昼光利用</b>				<b>3.4</b>	0.30	-	-	
	1 昼光率			3.0	0.60	3.0	-	
	2 方位別開口			-	-	3.0	-	
	3 昼光利用設備	ハイサイドライトの設置		4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 グレア対策</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-	
	1 照明器具のグレア			-	-	-	-	
	2 昼光制御	ロールスクリーン+横ルバーの設置		4.0	1.00	3.0	-	
	3 映り込み対策			-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
<b>3.4 照明制御</b>		人感・昼光センサを採用		<b>5.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気環境</b>				<b>3.8</b>	0.25	-	-	3.8
<b>4.1 発生源対策</b>				<b>4.0</b>	0.50	-	-	
	1 化学汚染物質	内装及び天井裏の70%がF		4.0	1.00	3.0	-	
	2 アスベスト対策			-	-	-	-	
	3 ダニ・カビ等			-	-	-	-	
	4 レジオネラ対策			-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-	
	1 換気量	建築基準法の1.4倍の換気量		5.0	0.33	3.0	-	
	2 自然換気性能			3.0	0.33	3.0	-	
	3 取り入れ外気への配慮	各種給気口と排気口の隔離距離6m以上		4.0	0.33	3.0	-	
	4 給気計画			-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	1 CO <sub>2</sub> の監視	空気質を適正に維持するBEMS+管理マニュアルを設置		1.0	0.50	-	-	
	2 喫煙の制御	喫煙ブースの設置(前室設置、負圧管理)		5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.8</b>	0.40	-	-	3.8
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 広さ・収納性			3.0	0.33	3.0	-	
	2 高度情報通信設備対応			3.0	0.33	3.0	-	
	3 バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>				<b>4.6</b>	0.30	-	-	
	1 広さ感・景観	事務室の天井高さ H=2.7m以上		4.0	0.33	3.0	-	
	2 リフレッシュスペース	喫煙コーナー+自動販売機+リフレッシュコーナー(3階)		5.0	0.33	-	-	
	3 内装計画	コンセプト内装計画+照明計画+インテリア		5.0	0.33	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>				<b>4.0</b>	0.30	-	-	
	1 維持管理に配慮した設計	防汚性の高い仕上げの採用+外部露出金属部の防錆対応		4.0	0.50	-	-	
	2 維持管理用機能の確保	各トイレに掃除流し設置、天井点検口設置、共用部からメンテナンス可能		4.0	0.50	-	-	
	3 衛生管理業務			-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.3</b>	0.31	-	-	3.3
<b>2.1 耐震・免震</b>				<b>3.0</b>	0.48	-	-	
	1 耐震性			3.0	0.80	-	-	
	2 免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>				<b>3.4</b>	0.33	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	ガルバリウム鋼板:25年、押出し成形セメント板:60年		4.0	0.23	-	-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット 壁:石膏ボード塗装仕上 天井:岩綿吸音板		4.0	0.09	-	-	
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水C:VLP,排水B:VP,給湯C:SUS,消火C:SGP(白)		4.0	0.15	-	-	
	6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.8	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	熱源種の分散(ガス、電気)+吊り配管、耐震支持の採用	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具採用、配管系統を分け災害時使用不能部分の低減	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	浸水可能性なし+自家発電設備の設置	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	浸水可能性なし+通信手段の多様化	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.6	0.29	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	階高さ 4.0m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:149/1060 = 0.14	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	メンテナンスが容易に行える場所に盤と点検口を設置	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	メンテナンスが容易に行える場所に盤と点検口を設置	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		緑地による良好な景観形成+圧迫感を軽減する外壁面セットバック	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.30	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20	-	-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	ハイドライト+自然換気システムの採用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		空調部分の個別コントロール、LED照明の採用	4.7	0.30	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)	4.0		-	-	
		集合住宅の評価	3.0		-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水コマ+省水型機器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.63	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床タイル(食堂)、木毛セメント板(屋根下地)、	4.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	木毛セメント板、杉集成材	5.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げ材、OAフロア	5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-	4.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	ビニル床シート用接着剤、建具・構造体塗装、サッシ・ガラス用シーリング	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	GDP=0かつGWPが低い発泡剤を採用	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率79%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善	夏季卓越風への配慮+隣棟間隔の確保+地表面被覆材の確保	4.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場・管理者車両用駐車施設確保、駐車場への導入路確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」「広告物照明の配慮事項」の過半適合	5.0	0.70	-	-	
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	